



## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-3		事業名	中規模事業所ごみ減量推進事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
ごみ減量・処理報告書の提出義務づけ対象拡大	－	一部実施	実施	指導開始	継続	実施 (H19)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 該当なし。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]該当なし。 [人材協力]該当なし。 [情報協力]立入指導時に処理業者やリサイクルルートの情報を提供することで、自主的なリサイクル活動の支援・協力を行った。 [その他の協力]該当なし。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 取組内容をホームページ、パンフレットを活用して、随時、事業者へ情報提供することと、21年度からの事業者指導とともに、分別・リサイクルに関して普及啓発を促進することにより情報共有を行う。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>○大規模建築物の対象が拡大され、約4,700件の建築物所有者等に対して事業ごみ指導員が事業ごみの減量・分別の指導を行う体制を構築した結果、廃棄ごみ量は着実に減少している。</p> <p>○立入指導を実施した事業者の中には、今後はごみ減量・分別に会社として積極的に取組みたいという反応も徐々に増えており、ごみ減量への事業ごみ指導員の指導効果は見られてきた。</p> <p>○すすきのモデル地区における事業者自らのごみ減量・リサイクルのシステムを構築した。</p>			<p>○事業者自らのごみ減量・リサイクルへの取組事例(すすきのごみ減量・資源化プロジェクト)を今後、他の地域へ普及させる。</p> <p>○小規模事業所におけるごみの分別・リサイクルの普及、推進を図る。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>○事業ごみ指導員が平成21年度から新たに対象となった新大規模建築物を中心として指導し、また、ごみ減量計画書・処理実績報告書の提出率を上げていき、ごみ減量・リサイクルを推進する。</p> <p>○モデル地区における事業者自らのごみ減量・リサイクルの取り組みを他地区にも普及していく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-3		事業名	中規模事業所ごみ減量推進事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,700	0	0	0	4,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,700	0	0	0	4,700	
予算	事業費	4,700	8,000	0	0	12,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,700	8,000	0	0	12,700	
実績	事業費	4,547	7,844	0	0	12,391	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,547	7,844	0	0	12,391	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				263.6%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
[20年度] 新大規模建築物名簿整備費、台帳管理システム構築費として予算化。							
[21年度]							
[22年度]							